



各 位

2018年11月1日

上場会社名 アマテイ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 藪内 茂行
 コード番号 5952 (東証第二部)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 石野 栄一
 (TEL: 06-6411-1236)

2019年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年5月10日に公表しました2019年3月期第2四半期(累計)(2018年4月1日～2018年9月30日)及び2019年3月期通期(2018年4月1日～2019年3月31日)業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2019年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (2018年4月1日～2018年9月30日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	2,600	40	30	20	1円70銭
今回修正予想 (B)	2,601	△0	△3	△16	△1円37銭
増減額 (B)-(A)	1	△40	△33	△36	
増減率	0.0	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	2,569	85	81	66	5円69銭

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	5,400	115	100	80	6円80銭
今回修正予想 (B)	5,300	65	55	40	3円40銭
増減額 (B)-(A)	△100	△50	△45	△40	
増減率	△1.9	△43.5	△45.0	△50.0	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	5,143	106	103	83	7円08銭

2019年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正 (2018年4月1日～2018年9月30日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	2,100	25	15	1円27銭
今回修正予想 (B)	2,038	△27	△38	△3円26銭
増減額 (B)-(A)	△62	△52	△53	
増減率	△3.0	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	2,035	65	56	4円76銭

2019年3月期通期個別業績予想数値の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	4,250	80	60	5円10銭
今回修正予想 (B)	4,150	20	10	0円85銭
増減額 (B)-(A)	△100	△60	△50	
増減率	△2.4	△75.0	△83.3	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	4,071	81	70	6円02銭

修正の理由

2019年3月期第2四半期(累計)の業績は、建設・梱包向(個別)においては、売上高は販売量は増えたが、前期よりの鋼材等の資材価格や輸入商品価格・運賃等の高騰の販売価格への転嫁が、当初の予想どおり進まず減収となる見込みであります。営業損益・経常損益は、生産性の向上効果による製造コストの低減を図ったものの、販売価格への転嫁が十分でなく、損失となる見込みであります。また、四半期純損益は、2018年9月4日の台風21号の暴風雨災害により、災害による損失として10百万円程度を特別損失に計上するため、損失が拡大する見込みであります。

一方、電気・輸送機器向においては、自動車をはじめ輸送機器関連部品や産業機械向の付加価値の高いライセンス品の需要が順調であり、売上高は増収、営業利益・経常利益は増益となる見込みであります。

以上の結果、売上高には大きな増減はありませんが、営業損失・経常損失・親会社株主に帰属する四半期純損失の計上となる見込みであります。

2019年3月期通期の業績は、建設・梱包向(個別)における売上高は、更なる販売価格の値上げと販売拡大に努めるものの、当初に掲げた予想値には至らず、減収となる見込みであります。利益面では、前述のとおり販売価格への転嫁と付加価値の高い品種の拡販や製造コスト・販管費の削減に努め、通期で第2四半期累計の損失を回復するものの、営業利益・経常利益・当期純利益は減益となる見込みであります。

一方、電気・輸送機器向においては、OA機器関連製品等で一部中国より国内回帰に後半の揺り戻しの動きがありますが、当初の業績予想からは売上高には大きな増減はなく、営業利益・経常利益は増益となる見込みであります。

以上の結果、2019年3月期通期連結業績予想の修正については、減収、減益となる見込みであります。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上